

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

4月号/2014年4月1日発行

■ 3月13日(水)
19:00~

3月まとめ例会

■会場 講演
いわき市生涯学習プラザ4階

■会場 懇親会
いわきワシントンホテル椿山荘

いわき市都市建設部 都市計画課 参事兼課長 西原 衡作氏
テーマ「小名浜港背後地整備事業の概要案と開発事業者への移行について」



寺主代表幹事 挨拶

本日は、雨の中お越し頂きありがとうございます。今日は中学校の卒業式に行っていました。この子供たちは小学校の卒業式直前に震災にあい、卒業証書は後日郵送と大変な思いをした生徒さんたちです。私もいわき経済同友会代表幹事を拝命し1年目の時で、これから向う少子高齢化社会に、10年後、20年後を見据えた企業経営を模索している時期でもありました。また、人口減少に伴う産業構造の変化に対応したビジョンをもって進めなければならないという矢先でした。震災から3年が経過し皆様のご協力で、それなりの成果を上げたと思っております。

第1グループの皆さんには震災特区について、第2グループには観光を中心に、第3グループには会

員交流の場と健康は企業トップとして、どうあるべきか、第4グループには地域の文化歴史の中から企業として、どうあるべきか、政策提言室さんには特区を導入して地域再生がどうあるべきか、行政とのコンタクトをとって頂きました。ブランド研究会には震災後の風評被害を払拭するため料理コンテストの開催をして頂きました。カジノサポート室ではカジノサミットへの参加、また5つの委員会の皆様のご尽力にも大変感謝しております。その中でも、研修委員会の先進地事例視察を行いました。「浮体式風力発電の実証実験」がスタートし、これを受け「着床式風力発電」の基地であります、ドイツのブレーマーハーフェン視察をいたしました。これは浮体式風力発電が将来、産業集積がなされ新しい雇

用創出が生まれる事の現実的事例として視察をしました。浮体式風力発電によって小名浜港から江名港までの産業集積ができればとも考えております。カジノについても同じであります。将来、観光交流事業が、滞在型にするためには「カジノ」の導入も考えていく必要があります。ドイツ視察のもう1つ、バーデンバーデンの高級カジノ見学も同時にいってまいりました。

26年度の事業の中にも、いわき市は小名浜を中心に街づくりをすることを提案していこうと思います。

私達のこの1年の事業を振り返りますと、皆様のご協力を頂き一生懸命やってきたと自負しております。また、次年度に向けて各自が行動することによって、地域がよくなり元気のある各企業づくりを目標に、さらなるご協力をお願いしたいと思います。



小名浜港背後地整備事業の概要案と 開発事業者への移行について

いわき市都市建設部 都市計画課
参事兼課長 西原 衡作氏

○小名浜港背後地整備事業の概要

小名浜港背後地における「まちづくり」については、小名浜地区が抱えるまちづくりの諸課題の解決に向け、国・県・市及びまちづくり団体等が一堂に会する「小名浜港背後地等の整備に係る連絡・調整会議」を設置し、協様調整・進行管理を行いながら、「港と市街地の一体的なまちづくり」の実現に向け、継続した取り組みを実施してきました。

その中で、小名浜港背後地においては土地地区画整理事業により福島臨港鉄道貨物ターミナルを移転し、移転跡地（都市センターゾーン）の土地利活用については民間活力の導入を図ることとし、平成14年度から民間事業者公募に向けた広報・PR活動等を実施し、平成22年11月には「小名浜港背後地開発ビジョン」を策定、更に東日本大震災後の平成23年11～12月に公募を行い、都市センターゾーンの開発事業協力者に選定したイオンモール株と平成24年1月31日に「開発事業協力者に関するパートナー基本協定」を締結し、これまで、協議体制等を確立するとともに、基盤整備事業と調整を図りながら、開発事業計画(案)の作成作業を進めてきました。

なお、当該地周辺の基盤整備については、震災復興土地地区画整理事業と併せて津波復興拠点整備事業を活用し、都市センターゾーン及びアクアマリンパークの集客拠点における津波避難の安全性を確保しつつ、再度津波が発生した場合においても、都市機能を維持するための拠点となる市街地の整備を進め、民間施設の整備と一体となり、平成27年度末のまち開き

を目指すこととしています。

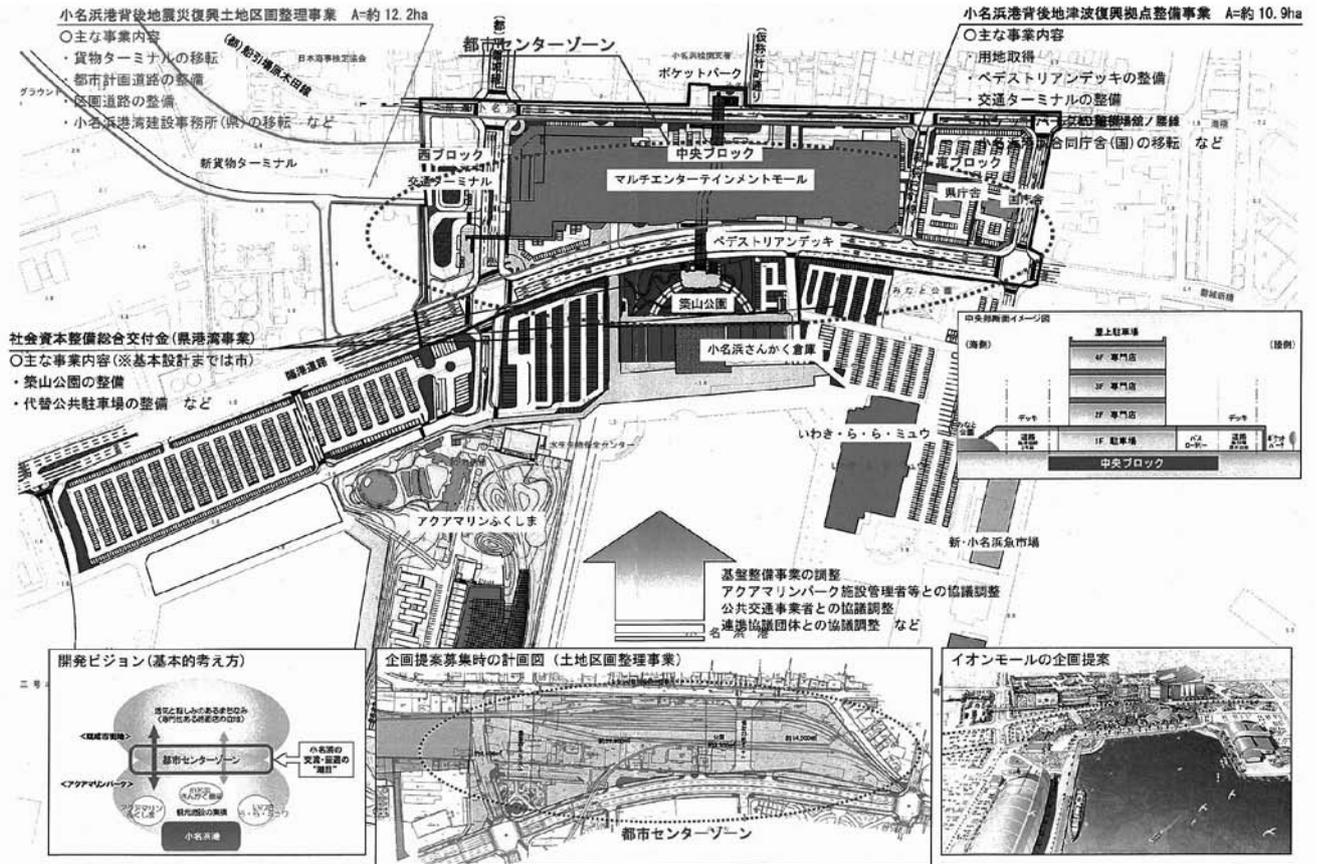
○開発事業者から開発事業者への移行 (開発事業計画の策定)

開発事業計画は、「小名浜港背後地（都市センターゾーン）開発事業協力者に関するパートナー基本協定（平成24年1月31日締結）」に基づき、開発事業協力者に選定されたイオンモール株式会社が、いわき市と協働で策定するものであり、小名浜港背後地都市センターゾーンにおける開発事業の具体的な内容や、周辺施設・地区も含めた活性化のための連携策の方針等について、計画を定めるものであります。

当該計画が策定される（市がその内容に合意し、改めて協定を締結する）と、イオンモール株式会社は開発事業者（デベロッパー）へ移行し、複合商業施設の建設に向けた具体的な手続きや地域との協議を開始し、まち開きにあわせた開業を目指すこととなります。



小名浜港背後地整備事業イメージ図(案)



● 3月まとめ例会 懇親会 ●



◆ 誕生月プレゼント



左上から寺主君男代表幹事、榎田雪美さん(3月3日生)、館勇男さん(3月14日生)、
 幸英治さん(3月30日生)、安島浩さん(3月17日生)、
 前列 小野嘉子さん(3月5日生)、鈴木清友さん(3月8日生)

「福島原発廃炉に向けた人的、技術的、国際化による産業集積を進めるにあたり、国の施策今後の方針について」

廃炉・汚染水対策現地事務所長
(経済産業大臣官房参事官)
野田 耕一氏

平成26年3月24日(月)
いわき建設会館5階



野田氏からは、廃炉に向けた中長期的ロードマップについての内容を資料と共に説明を受け、また、現在の原子炉・燃料プールの現状についても説明を頂きました。ここでは、特に汚染水について内容を掲載致します。

汚染水問題に関する基本方針

(平成25年9月3日原子力災害対策本部決定)概要
基本的考え方

1. 東京電力任せにするのではなく、国が前面に出て、必要な対策を実行する。
2. 逐次的な対応ではなく、想定されるリスクを広く洗い出し、予防的かつ重層的に、抜本的な対策を講じる。
3. 徹底した点検を行うことなどにより、新たに発生する事象を見逃さず、それらの影響を最小限に抑える。

政府の対応

1 関係閣僚等会話の設置

原子力災害本部の下に、内閣官房長官を議長として「廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議」を設置し、政府が総力をあげて対策を実施する体制を整備する。

2 廃炉・汚染水対策現地事務所の設置

福島第一原子力発電所の近郊に、「廃炉・汚染水対策現地事務所」を設置し、関係省庁から発電所の現場に常駐する職員も含めて国としての体制強化を行う。

3 汚染水対策現地調整会議の設置

現地における政府、東京電力等の関係者の連携と調整を強化するため、「汚染水対策現地調整会議」を設置し、現地の関係者の情報共有体制の強化及び関係者間の調整を回す。

4 廃炉・汚染水対策の工程管理とリスクの洗い出し

廃炉・汚染水対策は、東京電力による対応を強化すると同時に、国が前面に出て、作業が適切に進展するよう工程の内容と進捗の確認を行う。その際、汚染水処理対策委員会などにおける専門的知見を活用し、潜在的なリスクを洗い出し、対応の在り方について不断に検討する。各対策の実施時期はあらゆる方策を検討し、可能な限り前倒しを図る。

5 財政措置

技術的難易度が高く、国が前面にたって取り組む必要があるものについて、財政措置を進める。

6 モニタリングの強化、風評被害の防止、国際広報の強化

海域環境等のモニタリングを強化し、正確な情報等の迅速な提供で風評被害を防止する。対策の進捗や放射性物質の検出状況等について、関係者間の情報共有と調整を図るための体制を構築し、国際社会への情報発信を行う。

4月定時総会 4月21日(月)

場所 (株)八幡台やまたまや

例会 18:30～ 講演会 19:00～ 懇親会 20:30～

5月通常例会 5月16日(金)

例会 19:00～

講演会 19:20～

懇親会 20:30～

講師 小名浜まちづくり市民会議 会長 佐藤 毅氏

テーマ 「小名浜エリアの現状と今後の開発計画について」

場所 いわき市生涯学習プラザ4階 懇親会会場 ラ・パリージャ 会費3,000円
会費 1,000円

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 小野英典
副委員長/坂本和久・田村慎太郎・馬場 学
山崎勇一郎